

平成30年度 水道事業・下水道事業 決算のあらまし

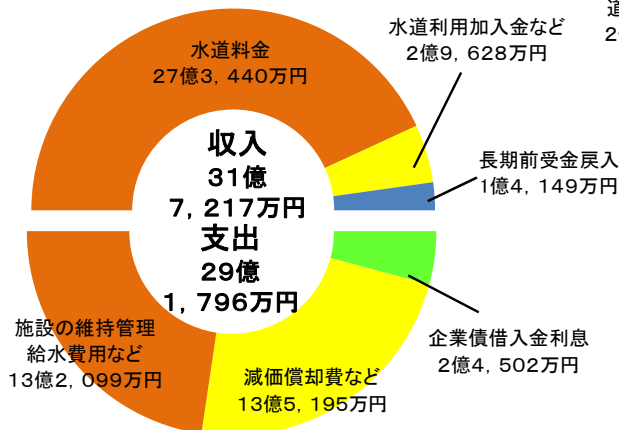
平成30年度の水道整備事業としては、各地区の配水管の布設、東部第1地区（明野小学校）に緊急貯水槽を設置し、幌内ポンプ場動力計装設備更新工事等を実施しました。

一方、下水道整備事業では、浸水対策として各地区の雨水管整備、ポンプ場においては沼ノ端中継ポンプ場の築造工事、下水処理センターにおいては勇払下水処理センターの電気設備更新等を行いました。

水道事業・下水道事業とも、今後も引き続き効率的な財政運営を図りながら、安全で良質な水道水の供給と、環境にやさしい水質保全に努力し、市民サービスの一層の向上に努めてまいります。

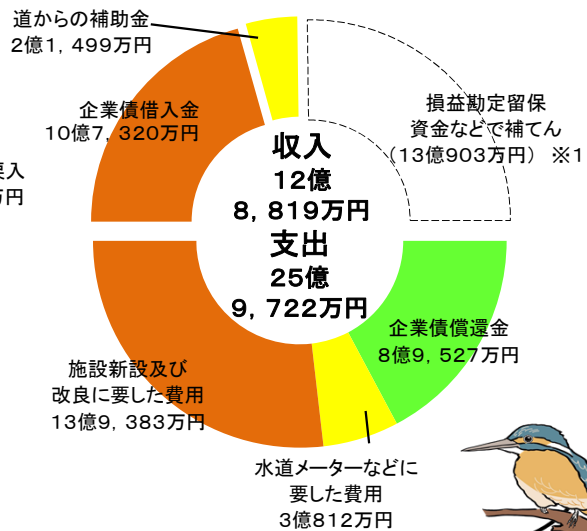
水道水をご家庭に送り届けるための経費とその財源です。

(収益的収支の状況)



水道施設を整備するための経費とその財源です。

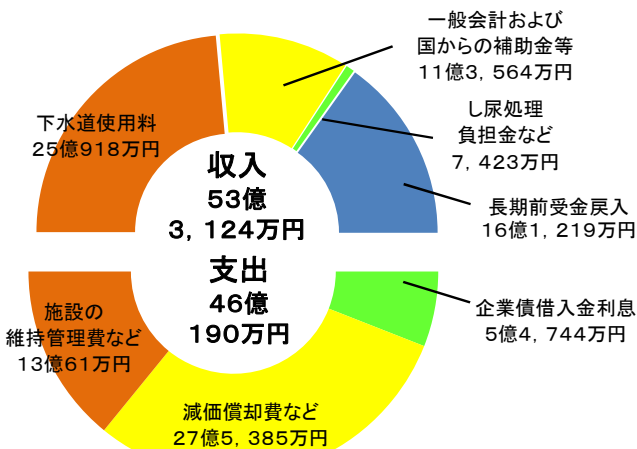
(資本的収支の状況)



水道事業

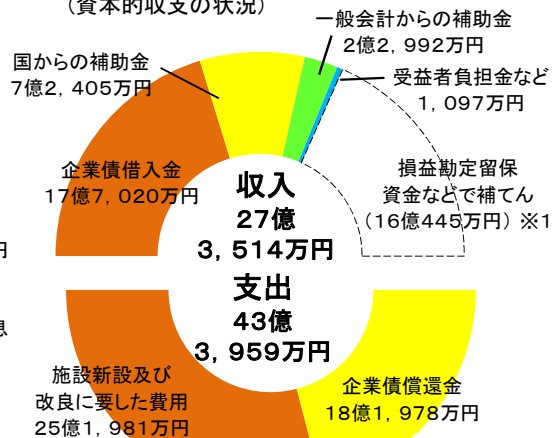
下水道施設の運転、維持管理等に関する経費とその財源です。

(収益的収支の状況)



下水道施設を整備するための経費とその財源です。

(資本的収支の状況)



下水道事業

※1 「損益勘定留保資金など」とは、現金支出を伴わない減価償却費などの企業内部に留保された資金